

今年も北の国から白鳥飛来



2014（平成26）年に稲の刈り取りが終わった布施の田んぼに水が溜まりました。それまでは、稲の刈り取りが終わると仏生寺川の水門を開け、用水路に水が流入しないようにしていたのですが、不思議なことに1枚の田んぼに水が溜まり小さな湖ができました。そこにハクチョウがやってきたと言います。

そして、次の年やってきたハクチョウに住民が餌を与えるようになり、年々飛来する数が増え白鳥見物に訪れる人も増えました。白鳥の故郷はサハリンともロシア東北部のコリマ川流域の湿地帯ではとの報告があります。

今冬も11月中旬、四千キロとも言われる長い渡りの旅を終え布勢の湖にやってきました。日が経つにつれその数が増え現在ではオオハクチョウ、コハクチョウを合わせて300羽を超えています。白鳥の餌は布施営農組合が毎年用意していますが、日に2回餌を与えている川辺広治さんは「今年は白鳥が帰るまで餌がもつかどうか配しています。」と話しました。

そんな心配をよそにハクチョウたちは餌を啄んだり大きな羽を広げたりしています。

自衛消防訓練実施

1月16日木曜日、学童保育(湖南校区児童育成クラブ)の児童25名、学童保育支援員4名及び公民館主事1名が参加して、本年度2回目の自衛消防訓練を実施しました。

十三公民館消防計画では、防火教育及び訓練として年2回の消火、通報、避難誘導を連携して行う訓練及び地震に備えた訓練の総合訓練と消火、通報、避難誘導を個別に行う部分訓練があります。

また、十三公民館二階研修室を使用して学童保育を行っている、湖南校区児童育成クラブでは、火災発生、地震発生、洪水、不審者等へ



の対応マニュアルを設け児童の安全を確保しています。この日は午後3時30分二階研修室のファンヒーターより出火したと想定し、支援員が出火を発見し直ちに消火器による初期消火及び避難誘導を行う部分訓練を実施しました。

今回の訓練では、二階研修室ファンヒーターからの出火と言うことで、児童が宿題をしたり遊んでいる場所での出火であり、燃え上がる炎を目の当たりした児童が混乱することなく、避難誘導の指示に適宜的確に従い、整然と落ち着いた避難行動をとれるよう、訓練を重ねていかなければならないと考えています。

2月の講座案内

講座名	曜日	実施日	時間	団体・講師名
詩吟	月	3日・10日・17日・24日	10時30分～	平井静子先生
詩吟	月	3日・10日・17日	13時30分～	大賀さよ子先生
手芸	火	4日・11日・18日・25日	13時00分～	
茶道(保育園)	金	7日	10時30分～	みどり保育園
三味線	木	13日・27日	19時30分～	山下茂昭先生
バランスボール	日	9日	10時30分～	浦野 司先生
オカリナ	金	14日・28日	14時00分～	尾崎春夫先生